

愛着を持って長く着てもらえる 服づくりを目指して。

野口 慶

パタンナー・企画営業



もっと生の声

Q & A

- 今後取り組んでみたい、実現してみたいことは？
3DCADを使った商品作りです。サンプル縫製しなくても完成した商品がイメージできるので、平面的なパターンで考えるよりも、立体的に捉えることができ、視点も変わり商品企画の幅が広がるのではと考えています。
- 思い出に残っているエピソードは？
地元に戻ったときに友達が着ていた服が、自分がパターンを担当した商品だったことです。ミリタリー調の凝った仕様が手の掛かった商品でしたので、直接友人には言わなかったのですが、とても嬉しかったことを覚えています。
- 将来繊維業界に従事する人へのメッセージをください。
短いサイクルで消費されるものが多くなっている時代ですが、SDGsが注目される中、これからは愛着を持って長く使えるものが大切になってくると思います。そういったものづくりにも一緒に取り組んで行きましょう。



高専で電気を学んだが、もともと服が好きだったことから東京の服飾専門学校に進学してパターンを学び、現在の会社に就職したという野口さん。就職の際には東京か地元鳥取に近い地域かで迷いましたが、「OEMを受けている会社なら様々なブランドの製品に関わることができて自分の成長に繋がりそう」と倉敷市児島にあるニイヨンイチへの入社を決めました。

入社4年目となる現在は、入社時から担当しているパターンに加えて企画営業も担当。昨年は自社ブランドの新企画を若手3人のチームの一人として任せられ、ゼロからのものづくりの大変さや楽しさを実感したそうです。「今後は、パターン作成の経験や知識を企画営業に活かしながら、OEMでも自社ブランドでもしっかり提案できるようになりたい」と意欲的に話してくれました。

「ニイヨンイチは自社工場があるため、パターン、縫製など各工程の担当者と直接やり取りができ、思い通りの商品づくりができる体制が整っています。また、この地域には、太番手の糸を使った縫製や洗い加工などの高い技術を持った企業が多くあり、世界中のブランドから仕事の依頼が来る地域です。自分の目の前でものづくりが完成するという環境で仕事ができることはこの地域ならではの良さと感じています。」